

『父と暮せば』 調布市民上映会へ
ご支援、ご協力をおねがいします。

『父と暮せば』 市民上映実行委員会代表
(調布市原爆被害者の会代表)

田 邊 俊 三 郎

『父と暮せば』 調布市民上映会 企 画 書

開催趣旨

戦後60年、被爆から60年の今年は、私たちが戦争と平和についてあらためて考える機会だと思います。被爆国としての日本の立場について、そして憲法9条のもとで非戦を誓ってきた国民として、今後の私たちの暮らし、政治、社会のありかたをひとりひとりが真剣に考えるべき時です。広島の惨禍を余すことなく表現した新作の映画を見る機会と、平和憲法について市民が意見交換する機会を設けるためにこの会を開催します。また私たちは21年前に非核平和都市宣言を行った自治体の市民であることを再度自覚するとともに、調布市が『日本非核宣言自治体協議会』に加入して非核平和のために市民とともに尽力することを要請していきたいと思います。

日 時 2005年12月3日(土)

(タイムテーブル)

10:00～11:40 『父と暮せば』 上映会 〈朝〉

13:00～14:00 ピース・メッセージ(調布「憲法ひろば」)

14:30～16:10 『父と暮せば』 上映会 〈昼〉

16:30～18:30 『ヒバクシャ・世界の終わりに』 上映会

19:00～20:40 『父と暮せば』 上映会 〈夜〉

会 場 調布市文化会館たづくり くすのきホール

調布市小島町2-33-1 0424-41-6111

入 場 券 1,000円(前売り、当日とも同額)

企画構成

映画『父と暮らせば』

井上ひさし原作、黒木和雄監督、出演＝宮沢りえ、原田芳雄、2004年作品、99分

(推薦団体＝文部科学省選定教育映画、厚生労働省社会保障審議会、青少年映画審議会、日本PTA全国協議会、日本映画ペンクラブ、日本原水爆被害者団体協議会、東京都知事、広島県知事、長崎県知事、福岡県教育委員会、広島市長、長崎市、福岡市、福岡市教育委員会、長崎原爆被災者協議会)

ピース・メッセージ

調布「憲法ひろば」による朗読・歌など

映画「ヒバクシャー世界の終わりに」

長編ドキュメンタリー映画、鎌仲ひとみ監督 取扱先＝グループ現代 115分

主 催

『父と暮らせば』市民上映実行委員会 〔代表・田邊俊三郎（調布市原爆被害者の会）〕

共 催

調布市原爆被害者の会（調友会）、府中・調布・狛江・稲城地区平和運動センター、調布「憲法ひろば」

後 援

調布市、調布市教育委員会、（社団）調布青年会議所

実行委員会連絡先

TEL 0424-87-1714 FAX 0424-87-1742〔藤川（みさと屋）〕

TEL 0424-83-1762 FAX 0424-83-1566〔大野〕

ホームページ <http://www.misatoya.net/chichitokuraseba> メール misatoya@jca.apc.org

バリアフリー案内

- * 〔13：00～16：10〕の間、保育室がある。11月25日までに予約。
- * 〔13：00～14：00〕「ピース・メッセージ」には手話通訳がつく。
- * 〔14：30～16：10〕「父と暮らせば」には手話通訳、音声ガイドがつく。
- * 車イス専用席（6席）。

調布市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は人類共通の願望である。核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

わが国は、戦争による世界唯一の核被爆国として、また平和憲法の花神から核兵器の廃絶と軍備縮小の推進に積極的な役割りを果たさなければならない。したがってわが調布市は、非核三原則の完全実施を願い、厳粛に非核平和都市を宣言する。

1983年9月27日

調布市議会